

11月22日

この日は、Kdey Takoy 小学校と Preah Sisowath 高等学校の視察を行い、それぞれの学校で非常に有意義な学びを得ることができました。Kdey Takoy 小学校では、モデル小学校として導入されたスタンダードプログラムの実施状況について、現場の先生方から教えていただきました。視察を通じて、教師と保護者、さらには生徒との相互作用の重要性に対する新たな視点を得ることができました。特に、教育の質を高めるためには、教師と家庭、地域社会が一体となって協力し合うことが不可欠であると感じました。さらに、学校と地域コミュニティとの連携が、学習環境の向上や社会的支援のネットワーク構築にどれほど大きな影響を与えるかについて、深い理解を得ることができました。

午後は、プノンペンの New Generation School (NGS) である Preah Sisowath 高校を視察しました。この高校では、柔軟なカリキュラム変更、適切な教員採用、1クラスあたりの人数制限といった、学びの質を高めるための取り組みを紹介していただきました。特に、Preah Sisowath 高校では、STEM 教育（科学、物理、生物学、ICT の分野）に重点を置いています。教師陣の高い語学力を基盤に、生徒たちは積極的にコミュニケーションを取り、グローバルな視野を広げていました。研修員からは、「生徒の語学力とコミュニケーション能力の高さに感銘を受けた」との感想がありました。

